



ともしぎ運動
ともに生きる福祉社会づくりをめざして

“KANAGAWA” 福祉タイムズ

2005 3 No.640

発行日 2005年(平成17年)3月15日
毎月1回15日発行
発行所 〒221-0844 横浜市神奈川区沢渡4-2
社会福祉法人 神奈川県社会福祉協議会
TEL045-311-1423 FAX045-312-6302
http://www.progress.co.jp/members/jinsyakyo/
編集発行人 平本邦夫
定価 100円(税・郵送料込)
印刷所 株式会社 神奈川機関紙印刷所
昭和27年1月30日 第三種郵便物認可



「多くの人に支えられ」終戦後、港町横浜に集まった無宿勤労者の宿泊施設として昭和24年に開設した東神奈川ホームは、この3月でその幕を閉じる。利用者の高齢化が進む中、閉所後の生活を考え通院や書類の代筆などの生活支援を行うとともに、常に聴き役になり気持ちを受け止めてきたという。「法律ができる前、福祉の原点であるこの施設を支えた先輩たちがいた。そういう人たちに感謝しながら55年間を締めくくりたい」と、職員皆に囲まれ田中真雄ホーム長(中央)は語ってくれた。(写真・文 菊地信夫)



横浜伊勢佐木町の路上ライブから出発したフォークデュオ「ゆず」から、ドラえもんエンディング曲にもなった「また会える日まで」の著作権料を、我が共同募金会にご寄付いただいています。

その動機は、「子どもたちと共同で詩を作ったから」と、曲の発売された平成十四年から現在に至るまで続いています。

昨年は、新潟県中越大地震で被災された方々のために役に立ちたいとの申し出があり、大震災直後の十月三十日からコンサートツアーの中で募金を呼びかけました。

コンサート会場の横浜アリーナにスタンド式の募金箱を持って出かけた中年職員は、「ファンの中学生・高校生が一枚の千円札を三人で入れたり、温かい心も届けたいから」と、募金とともにホカロンを入れてくれた」と、若者の優しさに感激していました。

四台置いた募金箱がいっぱい、壊れんばかりになり、四日間で五百七十万円にもなりました。

「ゆず」のお二人は、

「これからも特別なことでなくて、一人の人間として福祉活動をしていきたいと思えます」と話してくれました。

神奈川県共同募金会事務局長 岡村良子

目次.....CONTENTS

- 災害時、いかに動くか.....2・3
- 17年度県福祉部予算(案)の重点・新規事業.....4
- 17年度横浜市・川崎市予算(案)の主要事業.....5
- 自助具製作発表会授賞作品を.....6
- 長寿社会開発センターいきいきはつらつ.....7
- 連載・つながりをもとめて(最終回).....10・11